

蕎麦粒山道迷い(時期不明)

道迷いし、目の前に現れた林道を下るも途中で無くなる。GPS情報を確認し、更に強引に進みはっきりとした林道に出た。



解説

私は木についてる白い目印を追ってしまったのです。よく考えたら尾根じゃない!!下ってるし!この白いのは森を管理してるおじさんが木につけた何らかの目印なのです。この辺りから何とな一くおかしいなあと思いはじめます。体力・時間・メンタルなど総合的な要因で登りを引き返す判断ができませんでした。予定ルートは断念してこの道を行こう。そう決めました。とにかく下り方向に進みました。そして、道は無くなりました。

GPSで現在地を確認。心の中で「まずい」が連呼されています。やがてそれが独り言に変わります。最短ルートで行くしかない。再度GPS情報を確認します。(HP参照)

どの本もHPも、「迷ったら引き返せ!」と書いてある。しかし、人がとってしまう行動は、体力、時間、メンタル等の要因で「進め!」という答えを出してしまう。これが「道迷いの心理」なのである。心のどこかで「引き返せ!」と囁き「いや、このまま下っても大丈夫!」と頭と体が反応してしまう。心技体という言葉があるが、道迷いはすべてがバラバラなのである。

『根拠なく進む行動は遭難への近道だ!』この言葉を周知し続けていきたい。